

監査委員告示第10号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条の規定に基づく監査結果の公表について

令和6年11月12日

木津川市監査委員 西井 正
木津川市監査委員 兎本 尚之

定期監査結果について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定により、同条第1項及び第2項に規定する事務の監査を実施したので、同条第9項の規定により、下記のとおり公表します。

なお、本監査は木津川市監査基準に準拠して行ったことを申し添えます。

記

1 監査執行年月日 令和6年9月30日（月） 午前11時00分から

2 監査対象部局及び監査対象

市長直轄組織 危機管理課

- (1) 災害時における危機管理体制について
- (2) 木津川市消防団管理システムの活用状況について
- (3) 消防団施設及び消防水利の適正な維持管理と将来計画について

市長直轄組織 人事秘書課

- (1) 時間外勤務の状況と縮減に向けた取組状況について
- (2) 木津川市定員適正化計画について
- (3) 人材確保に向けた取組について

企画戦略部 学研企画課・デジタル戦略室

- (1) 第2次木津川市総合計画の概要について
- (2) 令和6年度組織機構改正について
- (3) 若者会議の状況と活用について
- (4) 書かない窓口（窓口支援システム）の拡大と予算について
- (5) 情報セキュリティ内部監査の実施について

企画戦略部 観光商工課

- (1) コロナ感染症の5類へ移行後の観光客増加に向けた取組と関係機関との連携について
- (2) 木津川市商工会プレミアム商品券事業補助について
- (3) 木津川市観光協会との連携について

3 監査方法

歳入歳出予算の執行状況をもとに監査対象部局の財務に関する事務の執行について監査を行い、併せて当該部局における所掌事務の執行状況について提出された監査資料に基づき、担当職員から聴取し監査を実施した。

4 監査結果

歳入歳出予算の執行状況をもとに監査対象部局の財務に関する事務の執行について監査を行い、併せて当該部局における所掌事務の執行状況について提出された監査資料に基づき、担当職員から聴取し監査を実施した結果、監査を行った範囲内においておおむね適正であると認められた。

なお、一部の事務について、次に示すように指摘を要する事例が見受けられたので、今後、適正な事務処理に留意されるよう意見を述べる。

また、監査の際に見受けられた軽微な事項については、記述を省略した。

(別 紙)

【危機管理課】

監査結果報告に添える意見として、近い将来、南海トラフ地震が発生することが想定されているが、発生時の初動体制をはじめ、市民の安全・安心を守るための備えを十分整えていただきたい。

また、災害時における職員の配備体制についても、すべての職員が理解し、即座に対応できるよう周知徹底されたい。

防火水槽等の消防水利や車両、資機材等については、緊急時に使用できるよう維持管理を行うとともに、適切な保全管理に努められたい。

消防団管理システムについては、今後も費用対効果が生かされるよう活用されたい。

【人事秘書課】

監査結果報告に添える意見として、時間外勤務総時間数は、年々増加しており、法で定める時間外労働時間の上限である年間360時間を超える職員数も同様に増加してきている。これまでから、ノ一残業デーなどの取組により縮減に努められているが、職員の健康管理のためにも、業務の平準化を図るなど、時間外勤務時間数の縮減に向け取り組まれたい。

木津川市定員適正化計画については、令和6年6月に改正され、総職員数は増加し、組織力が強化されることとなる。今後は、計画に基づき必要な人材を確保し、ムリ・ムダ・ムラのない組織体制が構築されるよう進められるとともに、職員の人材育成にも一層努力されたい。

【学研企画課】

【デジタル戦略室】

監査結果報告に添える意見として、地域おこし協力隊活動事業については、令和6年10月から隊員が加茂地域に定住し、本格的に事業が進められる。今後、事業推進にあたっては、協力隊の活動により、加茂地域の魅力が発信され、地域の活性化を図り、また、費用対効果が得られるようサポートされたい。

若者会議については、今後、事業を進める中で、若者の意見を取り入れ、本市への定着が図れるようまちづくりに生かされたい。

情報セキュリティ内部監査については、監査報告において是正が必要とされた事項について、是正した文書により改善の報告を求められたい。また、全職員に対しても周知を行い、全庁的なセキュリティ意識の向上を図られたい。

【観光商工課】

監査結果報告に添える意見として、観光施策について、地域の優れた文化財や歴史的遺産を活用した観光事業を進めるためには、土産物屋、トイレ及び駐車場など拠点整備が必須である。木津川市観光協会及び関係する府内関係部署と連携し、戦略的な取組を検討されたい。

プレミアム商品券の発行に関しては、これまでの商品券の使い勝手や事業者の換金事務等について、事業効果の検証を行うことで、今後のプレミアム商品券の推進に繋げられたい。

以上。